明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部NEWS

2013年 第42号

http://toshima.meiji-shikon.net/
フェイスブックもチェック！！

平成24年11月5日（土）

平成24年度支部総会・懇親会開催される

平成24年度豊島区地域支部総会・トークセッション・懇親会が、11月5日(土)池袋の豊島区勤労福祉会館にて開催されました。

当日は77名の校友・来賓の出席を賜り誠に有難うございました。

総会では平成24年度事業・決算及び監査報告が承認され、続いて平成25年事業計画及び予算案が承認されました。

事業報告では豊島立教会とのクリスマス特別企画参加や六大学野球「明治対立教」戦の応援・懇親会を始め、「明治大学野球部を愛する会」の優勝祝勝会、「としまNPO推進協議会」主催の第6回社会貢献活動見本市の出展及び昨年度からの継続である「池袋えんがわ市」でのフリーマーケットへの参加で東日本大震災への義捐金として25100円を送る事が出来ました。

また、当支部初の試みとして、春の旅行会と同時のゴルフコンペも開催する事が出来ました。此れもひとえに校友の皆様の御協力賜物と感謝申し上げるところです。

さて、次のトークセッションでは当大学大学院生で、本年9月開催のロンドンパラリンピック視覚障害の競泳100メートル背泳ぎで悲願の金メダルを獲得された秋山里奈さんをゲストに迎え、柳田副幹事長(としまNPO推進協議会代表理事)のコーディネートで秋山さんの子供の時からの水泳に対する思いから始まり、アテネ大会での「何となく出て」銀メダルを獲得、北京では背泳ぎは廃止と成り自由形で8位に、此の時自分自身では納得のレースと思い、辞めることを決意しましたがコーチの「世界選手権で金メダルを」との言葉で幼いころからの夢を実現する為出場し、2位と成りました。

それからスランプが続きましたが、今年の国内大会で世界記録を出し9月のオリンピックにつなげたそうです。

ロンドンでは50メートルターン後コースロープと接触しましたが、心の中で金メダル・金メダル・金メダルと叫び続け悲願の金メダルを手にされました。

レース後水中で右手を高々と6回も突き上げた映像は我々の心に残っていることと思います。

続く懇親会では「豊島サロン」さんの美味しい料理と大学からのお酒に酔いしれながら、「劇団ムジカフォンテ」によるミュージカル「冒険西遊記」の演技に始まり、明治大学応援団・バトンチアリーディング部のパフォーマンスで盛り上がり、しばし学生時代の気分を存分に味わうことが出来ました。

最後は全員肩組んで校歌を1番から3番まで声高らかに合唱しお開きと成りました。

お店紹介

校友会 豊島支部の会員の方のお店を紹介するコーナーです。

僕が、中学生時代からだから40年来の行き着けの店になる神保町の神田天丼家さん。人劇裏の「天丼いもや」の方が馴染みがあるのだが・・・。店名が変わり、場所も変わり１００円上がってしまったが、揚げたての天丼が６００円。あいかわらずの旨さ。

先代店主からの伝統で大盛でもごはんつぶを残さなければ、同価格で提供してくれる。食物を残してはいけないことを、客にも教育をする。

この姿勢はずっと守っていってほしい。それから「後ろ通ります」という一言も。

所謂幼児体験のようなもので、これが天丼だという刷り込みができてしまっている。

山の上ホテルで喰おうが浅草の老舗で喰おうが、ここと比較してどうかと常に考えてしまう。

天丼を喰おうと思うと、どうしても「神田天丼屋」へと足が向いてしまうのだ。

相変わらずの天ぷらはサクッとして真っ黒い辛めの汁が廻し掛けられた紛う事無きいもやの天丼は当然健在です！

この、黒く染まった白飯をみると、あ～、これだよなぁ～～、と一気に40数年前にタイムスリップ。

どんぶりのルーツは江戸時代にあって、江戸に1杯の盛りきり飯を売る「けんどん屋」ってのがあって、そこで使われる器を「けんどんぶり鉢」と呼んでいたそうな。それが略され「どんぶり」になり、どんぶりの歴史が始まったのだと。

この「けんどん屋」のルーツは「つっけんどん」からきたという。

客に対して盛りきり一杯をつっけんどんに出すだけ、おかわりなし。ここから始まったどんぶりの歴史。

おかずがのった一番最初のどんぶりは、江戸時代に誕生した「天丼」、そして「鰻丼」。

続いて明治初頭の文明開化の頃に始まった「牛丼」「開化丼」「親子丼」を経て、「カツ丼」が産まれたのは以外に遅く大正時代だという。

やはり「天丼」に歴史ありだな。

さぁ！ 皆さんも是非、新店舗へ足をお運びくださいね!!

（取材・文　三森 勲）

神田天丼屋（旧天丼いもや）
千代田区神田神保町3-1-14
TEL.03-3293-0366
営業時間：月～土 11：00～16：00（日祝休）

行事予定

◆『新年賀詞交歓会』
日時：平成25年2月16日（土）
18時～
場所：地球飯店
豊島区西池袋1-22-8

◆『暑気払い』
日時：平成25年8月3日（土）
18時～
場所：ホテル第一イン
豊島区東池袋1-42-8

◆『平成25年度総会・懇親会』
日時：平成25年11月10日（土）
18時～
場所：豊島区勤労福祉会館
豊島区西池袋2-37-4

明治魂を伝える

「スカッシュの練習に明け暮れる日々」

平成6年経済学科・政治経済卒
小林　克次

学生時代、スカッシュラケットクラブ練習後の小林氏。

明治大学校友会豊島支部の皆様はじめまして、1994年政治経済学部経済学科卒業の小林克次と申します。離島の伊豆大島から上京し24年、一浪して明治に入学しましたが私の今があるのは明治に入学したからと言っても過言ではありません。

在学中はスカッシュラケットクラブに所属し毎日練習の為、スカッシュコートで汗を流しました。授業はといいますとご想像の通りほとんど出席しませんでした。今考えると本当にもったいなく大学に戻り勉強しなおしたいです。一生懸命仕事をしてくれ大学を出させてくれた田舎の両親には深く深く感謝しています。

スカッシュといいますと個人競技の側面が強いですが学生の大会では5対5の総当たりで争う団体戦があります。当時の明治は常に優勝争いをしていましたが準優勝が最高でした。私は三年時のチームメンバーでしたが出番が少なく非常に悔しい思いをしました。学連委員長として大会を企画運営していましたので練習や試合に集中できないと自分に言い訳をしていたかもしれません。

「何としても優勝をしたい」という思いで練習を続けた結果、4年時の全日本学生スカッシュ選手権団体戦に創設以来、初優勝できました。優勝した瞬間は震えるほど感動しました。今考えれば先輩方が築いてくれた環境がよく、クラブ内での競争と強烈な目標意識があったからこその優勝であったと思います。

学生時代に選手としてだけでなく企画運営をしていたことが現在の仕事でも大いに役に立っています。

仕事や家庭では同時並行的に物事を進め目標を達成しなければならないことが多々あります。また目標を定めたらそこから逆算して制約のある中で周りの協力を得ながら目標を達成していく。この繰り返しではないでしょうか？

スカッシュで培ったこの『明治魂』で明治と日本の発展に少しでも貢献していけたら嬉しいです。

◆スカッシュ

スカッシュ（Squash）とは、ラケットを用いるインドアスポーツのひとつ。四方を壁に囲まれたコートと小さいゴムの球を用いて行う屋内球技であり、2名（ダブルスは4名）がラケットを使用してボールを交互に打ち合う。名称は球が握りつぶせる（squash）ことから来ている。全ての打球は前方の壁に向かって打つ必要があるが、そのほかの壁も全て利用することができる。相手がボールを2度床にバウンドする前に前方の壁に打ち返すことができなかったり、ボールが壁に届かなかったりすると、自分の得点になる。（ウィキペディアより）

◎年頭のご挨拶

昭和42年法学部卒 支部長
三浦 昭生

新年あけましておめでとうございます。

輝かしい平成25年の新春を迎え、校友の皆様には心からお慶び申し上げます。

そして日頃豊島区地域支部の様々な活動に多くのご協力を頂いている皆様と共にこの新しい年を迎えられたことは誠にうれしい限りであります。

昨年暮れには3年3か月ぶりのだい46回衆議院議員選挙が実施され自由民主党が圧倒的な勝利を収めました。決められない政治から一日も早く脱却して、我々国民目線に立ち、少子高齢化時代の新しいモデル国家を創るべく議員全員で切磋琢磨し、世界にその姿を見せて欲しいものです。

政治の話は此れ位にして、我が豊島区地域支部は本年も事業計画にうたいました通り地域社会との密接な関係を築き、「さすが明治」と云われます様一歩一歩地道な努力で社会貢献をを成し遂げたいと念願する次第です。

結びに当たり、校友とご家族様の益々のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げ年頭の挨拶といたします。

◎副支部長就任のご挨拶

昭和45年商学部卒 副支部長
増田 治美

明けましておめでとうございます。

ご家族お揃いで輝かしい新春をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。

入会させていただき、まだ日が浅いにも拘らず副支部長を拝命し、多少戸惑いもございますが支部長を補佐することを第一義と任じ、精一杯皆様方のお役に立ってまいりたいと思っております。

役員会に出席し感じますことは、議論の根底には常に、年齢差の大きい会員組織の親睦を如何にはかっていくか、ということと、見返りを求めず純粋にいかに地域貢献をしていくかという熱い思いがあるという事であります。

会社組織にいた自分（まだ半分は足を入れておりますが）を振り返って見ますと、思考と行動の原点の大部分は人材育成と売上と利益でありました。

皆様のご指導を賜りながら、少しでも〝心の欲するままに従うも矩をこえず〟の境地に入りたいと思っております。皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

昭和47年法学部卒 副支部長
板橋 光一

新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願い申し上げます。

この度、平成24年度豊島区地域支部総会で副支部長の大役を仰せつかりました昭和47年法学部卒の板橋光一と申します。

前任の副支部長勝浦信男先輩、村田亘弘先輩および木崎茂雄先輩、大変お疲れ様でした。諸先輩からのバトンをしっかりと引き継ぎ、「前へ前への明治魂」で三浦支部長の手足となって豊島区地域支部隆盛の為に、大いに汗をかいていく所存です。なお、豊島区地域支部の特徴である「老・壮・青」が一体となった校友会の裏方として、地域支部の名の通り、地域に密着した校友会として更なる発展を目指したいと思います。また、増田副支部長の足でまといにならないよう微力ではございますが一生懸命頑張りたいと思います。

結びにあたり、皆様方のご多幸を心よりお祈り申し上げると共に、今後ともご指導ご鞭撻をお願い申し上げ就任の挨拶に代えさせて頂きます。

平成24年度 決算報告書

平成23年10月1日～平成24年9月30日まで

（単位　円）

収入の部			支出の部		
科目	金額	備考	科目	金額	備考
前年度繰越金	257,088		イベント経費	80875	
22年度会費	90,000	30人×3,000円	本部拠出金	30,000	北部支部
広告料収入	10,000		会報作成費	35684	
イベント剰余金	177058		通信費	51805	はがき・切手等
他支部祝金等	70,000		郵便振込手数料	525	
受取り利息	64	含受取補助金	渉外費	70,000	隣接支部祝金等
寄付金	10,000		その他経費	19,459	
			次年度繰越金	325,862	
計	614,210		計	614,210	